

第3章

計画の基本的考え方

計画の基本的考え方

1. 計画の基本理念

区民、地域の関係団体・機関、区が力をあわせて本計画を推進する上での基本となる考え方として、次の3点の基本理念を掲げます。

基本理念1 個人の尊厳を守る

すべての区民が、住み慣れた地域で、その人らしい生き方をまっとうすることができる地域社会をつくれます。

基本理念2 共に生きる地域をつくる

すべての区民が、地域から疎外・差別されることなく、地域の一員として差異や多様性を認めあいながら、共に生き、支えあう地域社会をつくれます。

基本理念3 協治（ガバナンス）を実行する

すべての区民が、主体的に地域に参画し、活躍するとともに、区民、地域の関係団体・機関、区が、身近な地域の課題の解決にむけ、ともに考え行動していく地域社会をつくれます。

2. 計画の基本目標

本計画は、基本理念のもと、次の4つの基本目標に基づき、区民、地域の関係団体・機関、区の協治（ガバナンス）による取り組みを推進します。

1 区民が安心して暮らせる福祉のまちをつくる

区民の誰もが地域から疎外・差別されることなく、互いに認めあいながら地域の中で共生していこうという心の育成、誰もが自由に移動できる地域環境づくり、要援護者の防犯・防災対策など、区民が安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進します。

2 区民が安心して利用できる福祉サービスを提供する

利用者の立場に立った相談支援体制や自分で福祉サービスを選択・決定して利用することが難しい人の権利を守るしくみの整備・充実、福祉サービスの量と質の確保、生活に困難を抱えている人の自立支援など、区民が安心して利用できる福祉サービスを提供します。

3 区民の積極的な地域活動を進める

地域福祉に関する施策や活動についての情報の周知や、地域の課題の解決にむけて行動する力を育む福祉教育、地域福祉の担い手の育成、地域活動の活性化等を通じて、地域の一員としての区民の積極的な地域活動への参加を推進します。

4 区民が地域で支えあい・助けあうしくみを確立する

区民が地域で支えあい・助けあうしくみの確立にむけて、日ごろから地域のつながりを育むとともに、地域の見守りにかかわる区民、団体、関係機関のネットワーク化を進め、地域内のニーズや課題を把握・共有し、その解決にむけて行動するための協働の場（プラットフォーム）づくりを推進します。

3. 計画の基本的視点～プラットフォームによる地域福祉～

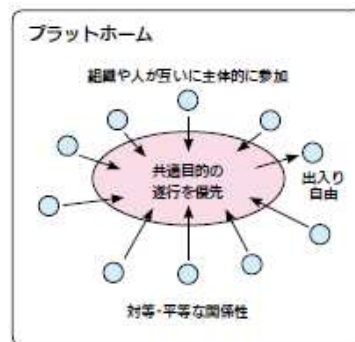
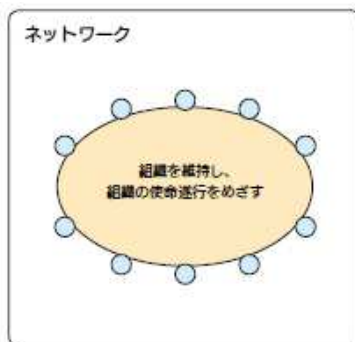
本計画は、基本目標を推進するにあたって、「プラットフォームによる地域福祉」を基本的な視点とします。

前期計画におけるプラットフォームづくり

前期計画では、「地域福祉プラットフォームづくり」を優先的取り組みの一つとして取り組んだ結果、高齢者みまもり相談室、小地域福祉活動等において、プラットフォームが生まれてきました。一方で、常設の相談場所（施設）が必要であるといった意見もあり、実際にプラットフォームが形成されて、活動上の成果があげられている状況にあったとはいえません。

求められるプラットフォームとは

本計画で考えるプラットフォームでは、「課題解決」を主たる目的とし、関係者が「自発的に」集まり、「平等な立場」で役割分担し、行動していきます。また、「組織をつくり継続すること」よりも、「ある共通の目的の遂行を最優先すること」が最大の特徴です。このため、関係者、関係機関が自由に参加し、目的が達成されれば解散することもあります。



(出展)
『福祉教育の展開と地域福祉活動の推進』

社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国ボランティア活動振興センター
福祉教育実践研究会

プラットフォームと各取り組みとの関係

本計画の取り組み項目を進めていくにあたって、事業や活動にプラットフォームという視点加わることで、今までつながっていなかった団体とつながりができ、地域の課題をたくさんの人と共有できるということが期待されます。また、お互いの取り組みや考え方を理解しあうことで、取り組みの効率化や相乗効果が進んでいくと考えられます。

また、基本目標の「4 区民が地域で支えあい・助けあうしくみを確立する」においては、「地域をつなぐプラットフォームをつくる」という取り組みを掲げ、プラットフォームによる地域福祉の好循環を生みだすことを目指しています。

4. 取り組みの体系図

